

令和2年度における大学図書館の活動概要

1 館内環境の整備

令和2年度の館内環境整備は、中央図書館（学生ロッカー取替、洗面コーナー撤去改修、グループワーク室（C室及びD室）入口扉改修（ガラス扉に）、1階南側フロアカーペット敷設、正面玄関扉ガラスのフィルム取替え）、日進図書館（Pタイルカーペット張替え＝1階書架、事務室、トイレ前）、学生ロッカー取替え、書庫内及び学習室内の学習椅子取替＝12脚、AVコーナー椅子取替、閲覧室椅子座面張替え＝134脚）を行った。令和2年4月15日から図書館が臨時休館となったことから中央図書館の館内書架サイン計画の実施を先送りとし、電子情報資源・印刷体を区別することなく統合的に発見するための環境整備（ディスカバリーサービスの導入）を行った。

2 利用者サービスの推進

新型コロナウイルス感染防止対策として、大学図書館は4月15日から11月30日まで臨時休館とした。臨時休館中には、5月11日（月）から図書貸出の郵送サービスと複写物の郵送サービス、6月15日からは事前予約による限定開館を実施した。非来館型サービスとして、電子書籍のプラットフォームでは Maruzen Electronic Library (MEL)に加えて、6月からKinodan（紀伊國屋書店）の利用環境を整備し、その他に大学図書館で契約している電子情報源に学外からアクセスできる環境の整備（学認経由によるアクセス）を進めた。視聴覚資料の利用環境の整備では、AVブースを改修して一人用AVを増設、中央図書館のノートパソコン全50台の内30台を更新、中央図書館の自校史コーナーの充実を進めた。その他に、図書館のネットワーク環境では、中央図書館及び日進図書館のWiFiの接続環境を整備した。

相山女学園大学デジタルライブラリーのコンテンツ充実として『絵入源氏物語』（えいりげんじものがたり）（承応三年八尾勘兵衛版・色刷り・旧帝国大学教授英国人チャムブレイン旧蔵）巻四十八から巻五十四までをデジタル化して、Webサイトで公開した。

3 書架狭隘化対策の具体化

書架の間引きのため、相山女学園大学図書館資料収集規準第6条（不要資料の決定）に該当する図書として、中央図書館（和書＝3431冊、洋書＝84冊）、日進図書館（和書＝4冊）を廃棄した。その他に、返還研究費図書として、中央図書館（和書＝524冊、洋書＝734冊、視聴覚資料＝57点）、日進図書館（和書＝927冊、洋書＝105冊、視聴覚資料＝7点）を廃棄した。

4 学生ライブラリー・サポーター制度の活性化

令和2年度は、ライブラリー・サポーター制度の活性化、ボランティアの位置づけから公認サークルとして活動できるよう制度の在り方を改めて検討するとしたが、実施できなかった。これは、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、本年度のライブラリー・サポーター活動を休止したことによる。令和3年度の活動再開に向け、1月末には、ライブラリー・サポーターの学生たちとオンラインで打ち合わせを行った。

5 学術機関リポジトリの推進

相山女学園大学学術機関リポジトリ（教育研究成果をインターネット上で無償に公開するシステム）の登録状況（令和3年1月31日現在）は、学術論文（759件）、紀要論文（434件）、学位論文（5件）、研究報告書（27件）、実践報告書（11件）、教育資料（31件）、学協会誌（7件）、図書（1件）、その他（4件）で計1348件（前

年比で75件増)となっている。利用状況(令和2年4月1日～令和3年1月31日)は、アクセス数(26,617件)、ダウンロード数(199,518件)となっている。

6 地域社会との連携の推進

(ア) 一般女性及び女子高校生等への図書館開放

一般女性への図書館開放については、本年度、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、図書館の学外者の利用を制限した。このため、地域社会の女性、女子高校生の来館利用ができなかった。

(イ) 名古屋市図書館及び日進市図書館との連携

本学は、名古屋市図書館及び日進市立図書館との連携協定に基づく相互利用を行っている。資料貸借は、名古屋市図書館及び日進市図書館への依頼件数9件(前年度依頼31件)、名古屋市図書館及び日進市図書館からの受付件数14件(前年度受付6件)であった。

7 貴重書コレクションの拡充推進

備付図書費予算の残額を利用して貴重図書・稀覯本等を購入して教育・研究に活用する計画は、図書館備付図書費予算の全学的な利用承認が3学部であること、令和元年度の学部備付図書費の予算執行率が100%であること、新型コロナ感染拡大防止対応もあったことから、本年度は学部備付図書費の全学的な利用は進めないこととした。

8 ラーニングコモンズの利用促進

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、アクティブ・ラーニング・スペース(複数の学生が集まり、様々な情報資源を活用しつつ議論を進めていく学習スタイルを可能にするスペース)となるラーニングコモンズは、前期において利用を制限した。後期からは、一部利用制限を緩和し「図書館利用ガイダンス」のスペースとして活用した。

9. 図書資料の収集・整備状況

本学図書館所蔵資料は、令和2年度の資料受入の結果、図書459,188冊(内数＝電子書籍532冊)、学術雑誌2558種、視聴覚資料20,595点となった。令和3年3月31日現在の主な指標は、次のとおり。

(1) 図書(所蔵総冊数)

区 分	和 書	洋 書	計
中央図書館	293,797	80,616	374,413
日進図書館	67,782	16,993	84,775
計	361,579	97,609	459,188

(2) 学術雑誌(累積所蔵種数)

区 分	和雑誌	洋雑誌	計
中央図書館	1,521	692	2,213
日進図書館	188	157	345
計	1,709	849	2,558

(3) 年間図書資料受入数（製本雑誌、寄贈図書、移管受入図書を含み、廃棄資料は含まない。）

区 分	和 書	洋 書	計
中央図書館	4,989	211	5,129
日進図書館	864	147	1,011
計	5,783	358	6,141

(4) 内数（年間電子書籍受入数）

区 分	和 書	洋 書	計
中央図書館	277	0	277
日進図書館	15	0	15
計	292	0	292

(5) 視聴覚資料

区 分	令和2年度受入点数	累積所蔵点数
中央図書館	151	17,936
日進図書館	25	2,659
計	176	20,595

10. 利用者サービス状況

区分			中央図書館		日進図書館	
			令和02年度	平成31年度	令和02年度	平成31年度
開館日数			207	275	196	275
入館者数			6,628	85,338	3,345	24,630
貸出冊数			7,043	32,497	1,520	11,186
相互協力	文献複写	依頼件数	469	524	69	94
		受付件数	425	505	54	111
	閲覧	依頼件数	0	2	0	1
		受付件数	0	28	0	0
	相互貸借	借用	41	73	3	17
		貸出	27	22	4	6